

ラット由来DTジアフォラーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0209

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 DTジアフォラーゼは、還元型二リン酸および三リン酸ピリジンヌクレオチドの酸化を触媒す

るフラボ酵素です。酵素1モルあたり1モルのFADを含んでいます。ラット肝臓に見られるこの酵素は、さまざまな染料やキノンによるNADHおよびNADPHの酸化を触媒します。分子量は約48 kDaであることがわかっています。ラット肝臓から精製された酵素のpH最適値は5.0です。これは、さまざまなキノンの2電子還元を触媒する細胞質内酵素です。ビタミンKをビタミンKヒドロキノンに Π 換し、翻訳後OY-グルタミルカルボキシル化反 Π に利用されます。これ

らの反□は、血液凝固に関与するいくつかのタンパク質に必要です。

用途 ラット由来のDTジアフォラーゼは、ラット肝臓によるキノンの2電子還元を調□する研究に使

用されました。ラット由来のDTジアフォラーゼは、異物代謝酵素の攪乱を通じてシリビニンの

大腸癌化学予防効果を調□する研究にも使用されました。

別名 メナジオンレダクターゼ;フィロキノンレダクターゼ;キノンレダクターゼ;デヒドロゲナー

ゼ、還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド(リン酸、キノン); DT-ジアフォラーゼ; フラボプロテイン NAD (P)H-キノンレダクターゼ; メナジオンオキシドレダクターゼ; NAD (P)H デヒドロゲナーゼ; NAD (P)H メナジオンレダクターゼ; NAD (P)H-キノンデヒドロゲナーゼ; NAD (P)H-キノンオキシドレダクターゼ; NAD (P)H: (キノン受容体)オキシドレダクターゼ; NAD (P)H: メナジオンオキシドレダクターゼ; NADH-メナジオンレダクターゼ; ナフタキノンレダクターゼ; p-ベンゾキノンレダクターゼ; 還元型 NAD (P)H デヒドロゲナーゼ; ビオロゲン受容体ピリジンヌクレオチドオキシドレダクターゼ; ビタミンKレダクターゼ; ジアフォラーゼ; 還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (リン酸) デヒドロゲナーゼ; ビタミン-K レダクターゼ; NAD (P)H2 デヒドロゲナーゼ (キノン); NQO1; QR1; DTD; NAD

(P)H: (キノン受容体)オキシドレダクターゼ; EC 1.6.99.2

製品情報

種 ラット

由来 E. coli

形態 約5%のタンパク質、乳糖、PBSバッファー塩を含む凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.6.99.2

分子量 モノマー分子量 **31 kDa**

純度 ~90% (SDS-PAGE)

代謝 $\$ Keap1-Nrf2、特定の生物のバイオシステム;代謝、特定の生物のバイオシステム;アミノ酸

とその誘導体の代謝、特定の生物のバイオシステム;酸化ストレス、特定の生物のバイオシス

テム; オルニチン脱炭酸酵素 (ODC) の調節、特定の生物のバイオシステム

機能 NAD (P)H デヒドロゲナーゼ (キノン) 活性; NAD (P)H デヒドロゲナーゼ (キノン) 活性; 補酵

素結合; 電子キャリア活性; 酸化還元酵素活性; スーパーオキシドジスムターゼ活性

単位定義 1ユニットは、 37° Cでメナジオン基質の存在下で、1分あたり 1.0μ モルのシトクロムCを減少

させます。

保管・発送情報

但在方注 7-8°C